



広報もとみや 号外

平成23年
8月5日発行
本宮市
秘書広報課
☎33-1111

No.7

線量低減化対策事業

公園・運動場などの除染作業を開始します!



高木の多目的グラウンド

区運動場などの除染作業を実施します。除染作業を行う施設は次のとおりです。なお、今後も計画的に市内の施設の除染作業を実施してまいります。

市では、福島第一原発の事故による放射線量の低減を図るため、子どもたちの通う保育所・幼稚園・小学校や中学校の校庭などの除染処理を実施したところでは、さらなる安全安心のため、市民の皆さんが数多く利用する公園や各地

【都市公園】

本宮運動公園、恵向公園、みずいる公園、弁天公園、花山公園、兼谷公園、名郷公園、井戸上公園、明戸石公園、みずきが丘第1公園、同第2公園、沢田緑道、東町裏公園、しらすわグリーンパーク、高松ふれあい広場、岩角農村公園

【児童公園・広場】

太郎丸広場、上町広場、北門、柳ノ内、立石住宅、坊屋敷、

【その他】

関根第1、同第2、同第3、同第4、中台、北川原田、欠下、

館町、兼谷平、葎ヶ入第1、同第2、塩田入、もとみや台第1、同第2、同第3、同第4、同第5、滝の入第1、同第2、平内、孫市、峰崎、日記沢、瀬戸川第2、まゆみが丘団地、荒井、榊形第1、同第2、同第3、下ノ里、村山団地、上野台、北石橋、下の原、松ヶ台、長屋平、八幡

【その他】

光が丘春公園、同夏公園、同秋公園

【地区運動場】

白沢運動場、青田運動場、仁井田運動場、和木沢運動場、長屋みややま運動場、稲沢運動場、松沢運動場、

【地区分館】

和田分館広場、糠沢分館広場、白岩分館広場、松沢分館広場、稲沢分館広場、長屋分館広場、白沢公民館前児童広場、高木地区公民館前広場

【福祉広場】

えぼか

放射線量マップを公表

市民の皆さんと作成

6月20日から市民の皆さんの線量計の個人貸出を開始し、7月末までに、89団体および1627人の方が線量計を借りてご自宅の測定をされました。その測定結果を市に報告いただき、放射線量マップを作成しました。

このマップはホームページ上で公開していますが、ホームページをご利用にならない方のために印刷したものを窓口で配付しています。

なお、線量計の貸出は続いていますので、貸出を希望する方は、窓口もしくは電話で予約のうえ、ご利用ください。

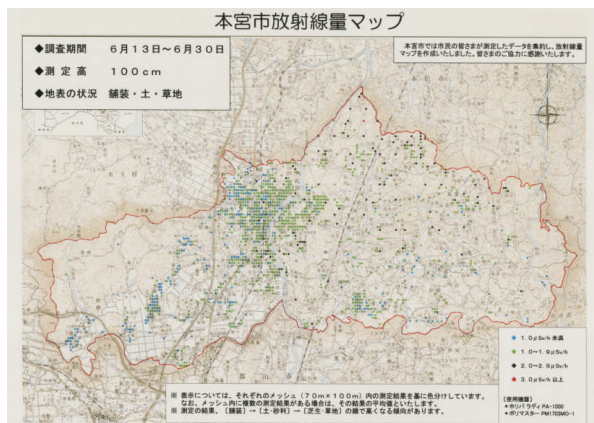
◆問い合わせ先

本宮市役所 生活安全課
☎33-1111 (内線114)
白沢総合支所 市民福祉課
☎44-2114 (直通)

9月から測定開始に向け

ガラスバッジを準備しています

7月13日付け広報もとみや号外(第6号)でお知らせしていましたが、中学生以下の子どもと妊婦を対象としたガラスバッジについては、9月から測定できるよう準備を進めておりますのでお知らせします。



放射線量マップは、本市の公式ウェブサイトでご覧いただけます。現在公開しているマップは、6月末までの測定結果をもとに作成しましたが、今後は月ごとにとりまとめ公表していきます。

Topics

「助け合い」 埼玉県上尾市が 本宮市を支援

埼玉県上尾市は本宮市を支援することとなり、7月14日に上尾市の担当者の皆さんが本市を訪れました。上尾市が本市を支援するのは、上尾市消防本部が総合体育館を拠点として災害救助活動を行ったのがきっかけとなったそうです。支援の内容については、市民の交流をはじめ観光物産にいたるまで、ひろく交流を図るなど、両市の話し合いにより進めていくこととなりました。

原木しいたけ出荷制限で 農水大臣に「緊急要請書」渡す

7月20日に高松市長と市内のしいたけ生産者らは農水省に出向き、鹿野道彦農林水産大臣に「緊急要請書」を手渡しました。原木しいたけは放射性物質検査の結果、これまでの露地物のほかに7月に入り新たに施設物までが出荷制限され、生産者にとっては日々の生活に困窮するばかりでなく林産物振興に大きな痛手となるため、緊急に行動をおこしたものです。大臣は生産者代表の声に耳を傾け、「損害賠償金の早期支払いと信頼回復」に尽力する旨話をされました。



写真右は、要望書を読む鹿野農水大臣(右)と高松市長(中央)、三瓶和彦白沢しいたけ連絡協議会長(左)。写真左上は、増子輝彦参議院議員へ要望書提出。下は金子恵美参議院議員へ要望書提出の様子。

しいたけ生産者の要望を聞く



会議には市内の生産者11人を含む20人が出席しました。

本市の原木しいたけ(施設)が放射性物質検査で暫定基準値を超え出荷制限されたことを受け、7月26日に第2回しいたけ生産対策会議を白沢公民館で開きました。高松義行市長、佐藤秀樹県北農林事務所林業課長らがあいさつし現状を説明しました。生産者からは「なぜ、被ばく後すみやかにホダ木を調べなかったのか」「われわれ生産者は死ぬか生きるかの瀬戸際であり、県に検査機器がなかったなどは理由にならない」「われわれも線量計を持って市場へ訴えていく努力も必要」「露地物は出荷制限されていても、現在のはものがないのでナンセンス」「制度資金は、実質的に借りられず県のパフォーマンスではないか」などの切実な意見や質問が出されました。

畜産農家に早期補償を!

あだち地域畜産危機突破緊急集会

放射性セシウムを含むわらを与えられた牛の肉が出荷停止となった問題で、7月30日に大玉村で「あだち地域畜産危機突破緊急集会」が開催され、安達地方の畜産農家など約400人が参加しました。

この集会は本宮市、二本松市、大玉村とJAみちのく安達などが主催したもので、国や東京電力に対し、早急に全頭検査を実施すること、畜産経営の維持・補償を求めることなどを盛り込んだ集会宣言を採択しました。参加した畜産農家からは、国に対する畜産経営の切実な要望が相次ぎました。



安達地方の畜産農家の方々が集まり、国・東電に対する要望を確認しました。

この緊急集会の結果を受け、8月2日に高松市長はじめ安達地方2市1村の首長は、肉用牛の全頭検査の実施・畜産農家などへの支援の強化と補償を国が責任をもって行うことなどを、平野達男東日本大震災復興対策担当大臣、農林水産省と経済産業省に早期に実現するよう強く求める緊急要請を行いました。

本宮第二中学校 『解体工事』のお知らせ

本宮第二中学校は東日本大震災により校舎と屋内体育館に甚大な被害を受け、現状のままでは使用できないため解体し、新築復旧します。

8月中旬より校舎と屋内体育館の解体工事に着手します。工事期間中は工事車両の出入りや騒音などご迷惑をおかけするかと思います。ご理解をいただきますようお願い申し上げます。なお、工事期間中における交通安全・環境保全・工事の安全対策等、地域の皆さまへの影響が無いように施工いたしますので重ねてご理解を賜りたくお願い申し上げます。

◆問い合わせ先
教育総務課

☎内線 245

放射能汚染から家族を守る

シリーズ 食べ方の安全マニュアル

Vol. 2



本市の放射線健康リスク管理アドバイザー、日本大学専任講師の野口邦和先生の著書「放射能汚染から家族を守る食べ方の安全マニュアル」から、今回は食品の安全な食べ方について学びたいと思います。

なるべく新鮮なものを選ぶ！

野菜・果物全般について、なるべく新鮮なものを選ぶことも大切です。放射性物質が表面に付着している場合、時間がたつほどこびりついてしまうので、収穫してから日の浅いものを選んでほうが安全です。

洗うときの注意

野菜や果物の放射性物質の除去の基本は、洗うことです。キッチン用の中性洗剤の中には、用途欄に「野菜、果物」などと表示されているものがあるので、洗剤を使うのもいいでしょう。その際に気をつけるのは、とくに強力な洗剤は必要ないということ。洗剤によって手が荒れると、傷口から放射性物質が体内に入り込んでしまいます。人の皮膚は防護に役立っていて、皮

膚に放射性物質が付着しても体内に侵入できません。ただし傷口には注意が必要です。

また、土壌汚染によって汚染された野菜や果物の場合も、洗うことである程度除去できます。セシウムは水に溶けやすい性質をもっているためです。

野菜の食べ方

野菜は、流水でよく洗いましょう。また、お湯で洗ったり、中性洗剤を使うのも場合によっては、効果があります。食材ごとに食べ方のポイントを紹介します。

【きゅうり】

- ・水洗いする
- ・食塩水に30分さらす
- ・酢洗いを
- ・酢漬けにする



【キャベツ】

葉の外側や芯の近くのデコボコしているところもよく洗い、サツとゆでて使う。酢水に15分さらしたり、ピクルスなどの酢漬けにする。



【しいたけ】

さつと下ゆでして使う。2回ゆでると、さらに効果がある。

【玉ねぎ】

皮をむいて洗って、できれば下ゆでする。新玉ねぎは皮をむいてよく洗って使う。

【桃】

・まず表面を水洗いして、皮をむいて食べる。

【梨】

・表面を洗剤を使って水洗いし、そのあと皮をむく。

※ 市場に回っている食品は、暫定規制値をクリアしたもので安全ですが、放射性物質の量が規制値内ということであり、ゼロではないので、なるべく体内に取り込む放射性物質を少なくした方がいいわけです。そのためには、調理する前にはよく洗うといったひと手間をかけることが大事ということになります。きゅうりは水洗いによって、ストロンチウム90の50〜60%が除去されるといってデータがあります（本宮市ではストロンチウムは検出されておりません）。セシウムやストロンチウムは水に溶けやすいため、水洗いの効果があるそうです。しいたけは、石づきを切り落とす、サツとゆでて使うと安心です。ただし、うまみ成分がにげないよう軽くゆでればよいそうです。

◆ 問い合わせ先
秘書広報課 内線223
次回シリーズ食の安全マニュアルは、広報もとみや9月号で、肉や魚、お米などの安全な食べ方について、学びたいと思います。